

1. 日時：令和5年2月16日 15:00～17:00
2. 会議方法：中央合同庁舎第3号館3階【ハイブリッド形式（対面+Web）】
3. 議事概要

事務局より資料に基づき説明があり、以下のことが了承された。

- 論点1 暫定規程作成にあたっての考え方について  
(案1) 基準値を設けない案にて進める
- 論点2 恒久規程作成に向けた検討のタイミングについて  
(案B) 電力消費量基準値（再）検討のタイミングを定める案にて進める
- 制度の名称について  
(案1) GX建機にて進める

#### 【委員からの主な意見（論点）】

##### 1. 論点1

- 基準値は1機種の中でもカテゴリー別に設定する必要があり、現時点において電動建機の数は限られているため、基準値の設定は難しく不確実な暫定値となってしまう恐れがある。
- 暫定においては基準値を定めない案1が良いと思う。現状、電動建機の電費のベースラインが見えておらず、適切な基準値を設定することは困難と考える。
- 案1のように基準値を定めず早期に認定制度を創設することで、メーカー間の開発競争を促し市場が大きくなっていくことを期待しているものと解釈している。
- 電動建機の台数が少ないので、最初は基準値無しで進めるのが良いと思う。
- 電動建機が普及していない段階であるため、電動建機の開発・普及促進を目的として認定を行い、ある程度普及した段階で再度規程について検討して次に進むというシナリオが良い選択だと思う。

##### 2. 論点2

- 開発する建機メーカーの立場としては、用途を定めることによって、政策の方向性やタイムラインが見える方が良いと思うので、案Bが良いと思う。
- 目標を国が定める方が望ましいので案Bが良いと思う。
- 市場動向を待つよりも、具体的な時期を決めた方がメーカーも開発しやすいと思う。

##### 3. 制度の名称

- 電動が必ずしもCNではないので、この中では「GX建機」が良いと思う。

- 「CN」と言うと、燃料という印象を受ける。また、「脱炭素」よりも、どちらかといえば「GX」が良いと思う。
- 認定制度から e-fuel 等の燃料を除外しているので「CN 建機」又は「GX 建機」という名称は違和感がある。「GX 電動建機」など、電動化を前面に押し出した名称の方が一般の方々にも注目されるので良いと思う。
- 認定制度は機械側の開発対象なので e-fuel を除いている。「CN」及び「GX」は燃料も含まれるが、「GX」の方がハード的なイメージがあり燃料のイメージが薄まる印象がある。
- 電動といっても国内では未だに火力発電が多く、電動が直ちに CN に繋がっているわけではない。一方、水素エンジンということになると、本当の GX 建機ということになるため、「電動」を入れない方が、本来の趣旨に近い印象を与えるのではないかと。
- 電動建機は小型のものが多く、中大型は燃料電池や水素エンジンが出てくるかもしれないので、色々な可能性があるということ踏まえ、電動という形で区切ってしまわない方が良いと思う。

#### 【委員からの主な意見（その他）】

- 電力消費量から燃料消費量へ換算する方法について、自動車の次期燃費基準で設定した換算方法を参考にしていきたい。
- 有線式電動建機は古くから存在しているため、これをバッテリー式電動建機と同列に扱ってよいのかについては、現在の技術レベルでも電動建機として優れたものであるのかがポイントとなる。今後、データ等を用いて議論していくこととしたい。
- 実現場における電動建機の使い勝手や標準機との性能差などの評価については、今後のスケジュール（案）に示しているとおおり、実現場における適用性を確認するのがよい。